

# ともに



～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～  
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校学校便り  
第19号 令和7年12月23日(火)  
文責：副校長 高柳 元

## あしかり未来づくり協議会設立総会

12月20日(土)、あしぱる多目的ホールにおいて、「あしかり未来づくり協議会設立総会」が開催されました。総会では、協議会設立までの経過報告をはじめ、規約や組織体制、事業計画、そして「あしかり未来づくりプラン」についての報告や協議が行われました。

会の冒頭では、芦刈観瀾校8年生による動画発表と、6年生によるステージ発表があり、会場を温かい雰囲気包みました。また、会の最後には、6年生から「あしかりの未来は、きっと、ハレ!」という合言葉にちなんだ、芦刈のシンボルカラー「黄色」の発表もありました。

設立総会終了後は、「しめ縄づくり」や「餅つき会」も行われ、参加した子どもたちは地域の方々とふれあいながら、楽しい時間を過ごしました。



## 3年生消防署見学

12月10日(水)、3年生が社会科「火事からくらしを守る」の学習の一環として、佐賀広域消防局小城消防署の見学に行きました。消防署内の施設や設備、さまざまな消防車や救急車を実際に見せていただくとともに、消防署で働く方々の仕事についてお話を聞きました。子どもたちは、自分たちの安全な暮らしを支える仕組みや人々の働きについて、関心をもって学ぶことができました。



## 5年生看板作り

12月10日(水)、5年生が安全教育の一環として、交通安全を呼び掛ける看板作りに取り組みました。完成した看板は、23日(火)に学校周辺へ掲示しました。芦刈観瀾校のみんなの交通安全に対する意識がさらに高まり、事故のない安全な生活につながることを願っています。



## 3年生豚汁作り

12月18日(木)、3年生が、野菜作りでお世話になった地域ボランティアの皆さんを学校にお招きし、あしのごファームで大切に育てたネギ・白菜・大根・人参を使って豚汁作りに挑戦しました。収穫した野菜を自分たちの手で調理する活動に、子どもたちは期待と緊張の表情を浮かべながら取り組んでいました。3年生にとって学校での調理は初めてでしたが、先生やボランティアの方々の話をよく聞き、役割分担をしながら丁寧に作業を進めました。その結果、けがをすることもなく、心も体も温まるおいしい豚汁を完成させることができました。地域の方々への感謝の気持ちと、食の大切さを改めて感じる貴重な学習の時間となりました。



## 5年生豆乳プリン作り

12月19日(金)、5年生が豆乳プリンづくりに挑戦しました。この活動では、「あしかり豆美人」から3名の方に来ていただき、作り方や豆乳の特徴について教えていただきながら、楽しく調理を行いました。出来上がったプリンには、自分たちで育てた大豆から作ったきな粉をまぶし、黒蜜をかけて味わいました。口にした瞬間、そのおいしさに子どもたちからは驚きの声が上がっていました。プリン作りの後には、「あしかり豆美人」の皆さんが実際に使われているキッチンカーの車内も見学させていただき、食に関わる仕事や地域の取組について学ぶ貴重な機会となりました。



## 9年生テーブルマナー給食

12月23日(火)、9年生を対象に「テーブルマナー給食」を実施しました。この時間には、栄養教諭の古賀先生から、ナイフやフォークの正しい使い方や、置き方によって表される意味の違い、スープの飲み方など、食事の場で大切にしたいさまざまなテーブルマナーについて教えていただきました。生徒たちは、実際の食事を通して、相手を思いやる心や食事の所作の大切さを学ぶことができました。

また、食事の前には、いつもおいしく栄養バランスのとれた給食を作ってくださっている調理員の皆さんに、日頃の感謝の気持ちを言葉で伝える場面もありました。食への理解と感謝の心を深める、貴重な学習の時間となりました。

